

**「営繕業務サポートシステム更改及び  
クラウドサービス環境提供の委託」**

**総合評価基準**

**日本郵政建築株式会社  
FM企画部**

本評価基準は、「営繕業務サポートシステム更改及びクラウドサービス環境提供の委託」の仕様書に基づいて定めたものであり、評価に当たっては次により行います。

なお、落札者が入札書と共に提出した提案書の内容は仕様書と同様に全て納入検査等の対象とします。

## 1 必須要件

提案書は、提案書作成要領に定められた様式及び記述項目を満たした上で、仕様書に定める要求要件をすべて満たす必要があります。

ただし、一つでも仕様書に定める要求要件を満たしていない場合は、その後の評価は行わず、当該提案書を不合格とさせていただきます。

## 2 必須以外の要件

仕様書に定める要求要件を超える部分について、更に有効な提案が行われた場合は、その内容に応じて最高330点の点数を与えます。評価点が198点(60%)に満たない場合は不合格とします。

なお、評価する提案内容及び配点については、「総合評価基準表」(別紙)のとおりとします。

評価要件に対する、評価観点の重要度及び相対的評価結果に応じて与える加点の配点基準は次のとおりです。

相対的評価結果	評価観点の重要度		
	最重要項目	重要項目	一般項目
	A	B	C
相対的に優れている	60	30	15
相対的にやや優れている	48	24	12
標準である	36	18	9
相対的にやや劣っている	24	12	6
相対的に劣っている	12	6	3

## 総合評価基準表

## 1 必須要件

評価項目	評価観点	評価
仕様書に定める項目	仕様書に定めるすべての要件を満足する具体的な提案がなされている。	合格 又は 不合格

## 2 必須以外の要件

項目番	評価項目	評価観点	重要度	配点
1	業務内容の理解と実績	日本郵政建築株式会社の営繕業務内容の理解と類似システム提供実績に対して以下の観点で評価する。 1. 同様業務実施者に提供するシステムで重要と考える事項 2. 同様業務実施者に提供した類似システムの実績	B	30
2	規模の理解と実績	郵政グループの規模（拠点数）の理解と対応実績に対して、以下の観点で評価する。 1. 同等規模に提供するシステムで重要と考える事項 2. 同等規模に提供したシステムの実績	B	30
3	本件委託に対する理解と提案の優位性	本委託に対する内容の理解と提案の考え方・強み・優位性を以下の観点で評価する。 1. 本委託を実施する上で重要と考える事項 2. 提案内容の特徴・利点・他との差別化について妥当性があるか	B	30
4	プロジェクト管理の実績	同等規模・同等期間のプロジェクト管理実績を以下の観点で評価する。 1. 提案のプロジェクト管理方法の具体性 2. 提案のプロジェクト管理にあたり有益な内容 3. 委託者、請負者の負担軽減策	B	30
5	要件の確認作業の方法	要件の確認方法を以下の観点で評価する。 1. 確認方法の実績と具体性 2. 確認方法の合理性	B	30

6	スケジュール管理方法と実績	<p>遅延することなく期日までに確実にリリースするため、リリースまでの進捗管理手法と類似案件のスケジュール管理実績を以下の観点で評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 工程毎のスケジュール管理手法の実績</li> <li>2. リソース配置の適切性と確保方法の実績</li> <li>3. クリティカルパスの把握方法と対応の実績</li> <li>4. 遅延発生時のリカバリ手順</li> </ol>	A	60
7	ユーザビリティ	<p>操作性、学習コスト削減、UI の分かりやすさなどユーザビリティを以下の観点で評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ユーザビリティ確保のため配慮している事項、実装実績</li> <li>2. 学習コスト低減のため、直感的に操作できるデザイン手法</li> <li>3. レスポンスの分かりやすさのため配慮している事項、実装実績</li> </ol>	B	30
8	費用と機能のバランス	<p>構築システムの機能・性能と費用のバランスを以下の観点で評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 初期費用と運用費用の各 1 年間の見積金額概算</li> <li>2. 提案された機能・性能に対する費用感</li> <li>3. 導入による業務改善やコスト削減効果の想定</li> </ol>	A	60
9	将来拡張性	<p>本件システム構築後、別途契約による将来拡張に関する提案を以下の観点で評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 提案の具体性、類似案件での実施実績</li> <li>2. 他システムと連携のしやすさ、類似案件での実施実績</li> <li>3. 将来拡張による具体的な効果</li> </ol>	C	15
10	その他提案	上記以外に特に有益となる提案を評価する。	C	15
総合評価配点合計				330 点